

いの町学校・警察連絡制度

2月1日から、現行の連絡制度の内容を拡充した「いの町学校・警察連絡制度」がスタートします。

◆いの町学校・警察連絡制度とは

これまでの連絡制度では、児童生徒の逮捕事案や悪質な道路交通法違反事件が連絡されてきました。このように問題行動が深刻化してからの連絡では、学校における指導・支援は難しく、何より児童生徒の立ち直りが困難であったり、時間がかかったりするケースが多くなっています。

そこで、問題行動の未然防止の観点から、本制度をさらに充実させスタートすることとなりました。

本制度は、児童生徒の問題行動などの初期の段階から学校と警察が緊密に連携し、家庭とも連携を深めることによって、多角的な支援を行い、早期の立ち直りや非行及び犯罪被害の拡大防止を図ることで、児童生徒の健全育成を目指すものです。

児童生徒が逮捕、検挙、補導された場合、警察は学校に連絡するとともに、児童生徒の問題行動などの内容によって、学校は警察に連絡し、協力を求めることができる制度です。

また、児童生徒が被害を受けた場合は、本人又は保護者の同意があれば被害拡大防止のために連絡することができます。

◆連絡の内容

氏名、生年月日、性別、自宅住所・連絡先、学年、日時、場所、行為のうち必要と認める情報

※写真、容姿風貌については、家出、行方不明、不良交友に限り、学校から警察へ連絡する場合があります。

◆本制度から期待される効果

- 問題行動などの発生・再発防止
- 生活習慣の改善
- 規範意識の醸成
- 学習意欲の向上
- 中途退学の防止

■本件に関する問い合わせ

学校教育課

いの警察署刑事生活安全課

893-1922

893-1234



いの警察署からのお知らせ



いの警察署 ☎ 893-1234

南海地震に備えよう!!

地震や津波といった大きな災害のときには、消防・警察・行政などの救援が遅れる可能性があることから、救援部隊が到着するまでの間、地域全体で助け合い、災害に対応していくことが重要となります。警察では、地域防災力(防災意識)の向上・高揚を図るため自主防災組織などの設立を支援するとともに、地域住民との協働による防災訓練(避難訓練・防災教室など)に参加するなど、様々な活動をしています。

◎防災教育が大切です!!

(釜石の奇跡)

○津波でてんでんこの教え

家族のことは気にせず、てんでばらばらになって逃げて、自分の命を守りなさい。高台で待てば、いつか必ず迎えが来る。

○釜石市の防災教育

- 1 想定にとらわれるな
 - 2 どんな状況でも最善をつくせ
 - 3 率先避難者になれ
- ※大震災では1人で高台へが子どもたちに浸透していた。

○防災豆知識

- 1 地震の揺れが1分以上続いたら高台へ
- 2 津波は6時間以上続く
- 3 「減災」について地域の理解を

もしもの時のために・・・
備えていますか?



平成24年中の交通事故発生状況

◎高知県内の事故 ()内は前年比

区分	件数	死者	傷者
全事故	3,276(-132)	53(+7)	3,656(-226)
高齢者	1,209(+69)	34(+9)	819(+53)

◎いの警察署管内の事故 ()内は前年比

区分	件数	死者	傷者
全事故	132(+10)	3(-1)	152(+21)
高齢者	51(+7)	3(+2)	37(+16)

◎交通事故の特徴

- ①県内の交通死亡事故で、高齢者の死者数は前年に比べ9人増加し、全死者の半数以上を占めています。特に歩行中にはねられた12人のうち8人は道路横断中で、主に国道や主要県道で多く発生しています。
- ②四輪乗車中の死者21人のうち11人は、シートベルト非着用で、11人すべての方が着用していれば助かったと思われます。
- ③いの警察署管内では、高齢者の関与する事故及び傷者、死者数共に増加し、死亡事故はすべて枝川地区で発生しています。
- ④特に多い事故発生区間は、枝川から波川にかけての国道33号上であり、事故形態では、追突事故が最も多くなっています。
- ⑤事故原因は、事故全体の約8割が前方不注視や安全不確認などによる、ちょっとした不注意で発生しています。